

事業内容  
Activities学術集会・セミナー  
Congress&Seminar発行雑誌・研究・教育  
Journal各種資格  
Qualification会員手続き  
Registrationその他の情報  
Information

TOP &gt; 事業内容 &gt; 理事会ニュース &gt; (R2年度 - 6)

## ● 理事会ニュース(R2年度-6)

## 理事会ニュース(R2年度-6)

日時	: 令和2年11月24日(火) 12:00~16:00
場所	: 浜松町コンベンションホール& Hybrid スタジオ 大会議室B (Web会議システム; Zoomを併用)
出席者	: 理事長 ; 森正樹 副理事長 ; 池田徳彦 理事 ; 碓氷章彦, 宇山一朗, 海野倫明, 大木隆生, 大塚将之, 奥村明之進, 小澤壯治, 小野稔, 越永従道, 小寺泰弘, 齊藤光江, 佐田尚宏, 武富紹信, 田尻達郎, 伊達洋至, 中村清吾, 中村雅史, 平野聡, 平松昌子
欠席者	: 監事 ; 北川雄光, 澤芳樹, 土岐祐一郎
陪席者	: 理事 ; 湊谷謙司 次期会頭 ; 松原久裕 次々期会頭 ; 馬場秀夫 幹事 ; 古山正, 宮内英聡, 馬場祥史
議題	: 第1号議案 定期学術集会の件 第2号議案 各種委員会中間報告の件 第3号議案 本年度外科専門医制度修練施設指定の件 第4号議案 次年度収支予算書(案)および事業計画書(案)の件 第5号議案 次期役員等選任の件 第6号議案 入会および休会ならびに復会に関する件 第7号議案 その他

## 第1号議案 定期学術集会の件

- 第120回定期学術集会/記念事業(北川監事):  
サマリーレポートを公開済み。  
記念誌は参加登録者(うち希望者)に贈呈。  
今後の学術集会はハイブリッド形式の開催を基本方針とする旨を決議。
- 第121回定期学術集会(松原会頭):  
現時点では、現地開催+オンデマンドという形式で準備中。
- 第122回定期学術集会(馬場次期会頭):  
12月中旬にプログラム委員会を開催予定。
- 第123回定期学術集会(大木理事):  
準備に着手。

## 第2号議案 各種委員会中間報告の件

- E-learning委員会(奥村理事)
  - 受講者数(10月末時点):
    - 医療安全講習; 715名
    - 外傷講習; 1,417名(3コース合計)
    - 医療倫理講習; 363名
    - 感染対策講習; 216名
  - 今後の配信予定:  
年内に卒後教育セミナー、臨床研究セミナー、感染対策講習(COVID-19関連)を配信予定。  
来年度以降は各共通講習のコンテンツを毎年作製する方針を決議。
  - リンク:  
国立病院機構が医療安全講習のコンテンツをリンクする旨を許可(決議)。
- 倫理委員会(小野理事)

第121回定期学術集会の応募演題の倫理的手続きの承認期限を年末まで延長済み。

「日本外科学会学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」は第123回定期学術集会の演題応募から厳格に適用する方針を決議（→周知徹底）。

2-1. 調査委員会（小野理事）

論文の不正認定の案件について調査開始。

2-2. 研究倫理審査委員会（小野理事）

研究課題「厚生労働省外傷外科医養成研修事業における参加者報告『外傷緊急手術に対する院内体制の整備状況』の分析」を承認済み。

3. 総務委員会（池田副理事長）

11月17日に本年度第1回委員会を開催。

1) 定期学術集会運営委託業者の選考：

第122回と、第123回定期学術集会の運営委託業者としてコングレ社を決議。

2) 事務所の移転：

移転先の敷金を入金。

3) 事務局職員の配置転換（ローテーション）：

辞令を手交済み。

4) 事務局のリモートワーク化：

EYストラテジー・アンド・コンサルティング社へのコンサルテーション委託を決議。

4. CST推進委員会（伊達理事）

10月9日に本年度第1回委員会を開催。

1) リモートCST／ライブCST：

第120回定期学術集会中のリモートCSTはアーカイブ配信済み。

第121回定期学術集会中のライブCSTは趣意書を確認済み。

2) 厚生労働省「実践的な手術手技向上研修事業」：

医系の国会議員に予算確保の支援を依頼済み。

3) 今後の方針：

日本医学会連合への移管を協議中。

5. 臨床研究推進委員会／利益相反委員会（宇山理事）

11月13日に本年度第1回委員会を開催。。

1) 臨床研究助成／若手外科医のための臨床研究助成：

本年度の授賞者を決議。

来年度からのWebシステム化を決議。

2) NCDデータを利用した複数領域にまたがる新規研究課題：

募集済み。

3) 臨床研究セミナー：

本年度はE-learning化し、12月中に配信開始予定。

来年度以降もE-learningとして開催する方針を決議。

4) 役員等の利益相反自己申告書：

該当者全員が提出済み。

6. 教育委員会（大木理事）

ビデオライブラリー（最新手術シリーズ）に収録する第120回定期学術集会の優秀ビデオ演題12本を決議。

7. 学術委員会（中村（雅）理事）

第120回定期学術集会の発表演題の疑義照会に対応済み。

8. 国際委員会（大木理事）

特段の報告事項なし。

9. 遠隔手術実施推進委員会（平野理事）

AMED採択研究「手術支援ロボットを用いた遠隔手術のガイドライン策定に向けた実証研究」を実施中。

10. 専門医制度委員会／日本専門医機構（小寺理事／池田副理事長）

1) 来年度の専攻医の一次登録結果：

外科領域は850名（前年度より増加）。

採用定員数を超過した施設は、従来どおり来年度以降に調整してもらう旨を決議。

2) 新専門医制度下の試験など：

スケジュールなどを周知済み。

3) 新規開院施設の連携施設認定：

10月1日付で連携施設に認定済み。

4) 臨床研究医コース：

本年度の外科領域の専攻医は応募なし。

5) 「専門医制度整備指針」の補足：

日本専門医機構と協議中。

6) 外科領域のサブスペシャリティ領域連絡協議会：

本年度は外科領域を主とする新規サブスペシャリティの推薦を行わない方針を決議。

7) サブスペシャリティ領域の連動研修：

外科領域の「専門研修プログラム整備基準」に詳細を記載済み。

8) 厚生労働大臣からの意見および要請：

回答文書を決議。

- 「専門研修プログラム整備基準」の該当箇所の変更を決議。
11. 専門医認定委員会／予備試験委員会（平野理事）  
コロナ禍が悪化した場合の予備／認定試験の代替方針を決議。
  12. 指定施設指定委員会／指導医選定委員会（越永理事）  
＜第3号議案 本年度外科専門医制度修練施設指定の件＞
    - 1) 指定施設指定の判定：  
申請；958施設  
可；958施設 →決議（有効期間3年）
    - 2) 関連施設指定の判定：  
申請；1,015施設  
可；1,014施設 →決議（有効期間1年）
  13. 外傷外科医養成研修実施委員会（平野理事）  
10月28日に本年度第1回委員会を開催。  
本年度も本学会が厚生労働省「外傷外科医養成研修事業」の実施者として選定済み。  
受講者を募集済み。
  14. 医療安全管理委員会（中村（清）理事）  
10月27日に本年度第1回委員会を開催。  
高難度新規医療技術該当リストの見直しを行うため、各サブスペシャルティ学会に確認依頼中。
  - 14-1. 日本医療安全調査機構（森理事）  
10月30日に理事会を開催。
  15. 医学用語委員会（齊藤理事）  
9月24日に本年度第1回委員会を開催。
    - 1) 日本医学会の医学用語辞典：  
日本医学会医学用語委員会に改定を提言予定。
    - 2) 委員交代：  
早川哲史正会員から三澤健之正会員（帝京大学）への交代を決議。
  16. 男女共同参画委員会（平松理事）  
11月5日に本年度第1回委員会を開催。
    - 1) 邦文誌の企画：  
「理想の男女共同参画を目指して」の執筆者を検討中。
    - 2) 今後の活動：  
他学会の男女共同参画のアンケートについて調査予定。  
外科医労働環境改善委員会と将来的に発展的な統合を行う方針。
  17. 外科医労働環境改善委員会（馬場次期会頭）
    - 1) 会員アンケート：  
コロナウイルス対策委員会と協働して、コロナ禍に伴う働き方の変化などについての会員アンケートの実施を決議。
    - 2) 特定行為研修を修了した看護師の配置：  
日本クリティカルケア看護学会と協議済み。
    - 3) 厚生労働省「医師の働き方改革の推進に関する検討会」：  
いわゆるB水準の医療機関の他に、連携B水準が設けられることが判明。
  18. コロナウイルス対策委員会（池田副理事長）  
日本医学会連合で「COVID-19 expert opinion」を公開済み。
  - 18-1. 日本医学会連合；Japan CDC創設に関する委員会（武富理事）  
「健康危機管理と疾病予防を目指した政策提言・支援組織（Japan CDC）の創設」の提言を作成中。
  19. 英文誌編集委員会（海野理事）
    - 1) 編集状況：  
本年投稿数は980編（10月末時点）で、コロナ禍の影響で増加傾向。
    - 2) 画像転載（二重投稿）：  
疑義論文の事実確認を照会中。
    - 3) 研究奨励賞：  
第26回研究奨励賞の授賞者には賞状と目録を郵送済み。
  20. Case Report誌編集委員会（碓氷理事）  
本年投稿数は613編（11月半ば時点）で、コロナ禍の影響で増加傾向。
  21. 邦文誌編集委員会（小澤理事）  
特段の報告事項なし。
  22. 保険診療委員会／外保連（越永理事）
    - 1) 令和4年度診療報酬改定に向けた要望項目：  
外保連への要望項目の取りまとめ作業中。
    - 2) 外保連の「技術評価の適正化のための手術に関する調査」：  
指定／関連施設を対象にアンケート調査を依頼中。
    - 3) 外保連の記者懇談会：  
11月24日に「02年度診療報酬改定の検証と04年度診療報酬改定に向けて」のテーマで開催予定。
    - 4) テデュグルチド製剤：  
在宅自己注射指導管理料への対象追加の要望書の提出を決議。

23. NCD連絡委員会（事務局）  
2019年版のNCDの年次報告書を公開済み。
24. 将来計画委員会（森理事長）  
特段の報告事項なし。
25. 定款委員会（武富理事）  
特段の報告事項なし。
26. 情報・広報委員会（田尻理事）  
ホームページのリニューアル作業中。
27. 選挙管理・選挙制度検討委員会（大塚理事）  
特段の報告事項なし。

第4号議案 次年度収支予算書（案）および事業計画書（案）の件（財務委員会報告：佐田理事）

11月9日に本年度第1回委員会を開催。

1. 本年度事業計画書／収支予算の修正：  
コロナ禍のため、本年度の事業計画書／収支予算の修正を決議。
2. 次年度事業計画書（案）：  
内容を確認中。
3. 次年度収支予算（案）：  
予算原案の方針を概ね了承。

第5号議案 次年度役員等選任の件

次々期会頭の立候補届出期間を決議。

→令和3年1月15日（金）～25日（月；午後5時必着）

理事の補欠選挙の実施を決議。

→立候補届出期間は、令和3年1月15日（金）～25日（月；午後5時必着）

第6号議案 入会および休会ならびに復会の件

入会申請者全員を正会員とする旨を決議。

復会申請者全員の復会を認める旨を決議。

（休会申請者はなし）

第7号議案 その他

1. その他  
準会員制度の導入を今後検討。
2. 次回（第7回）開催予定：  
令和3年1月26日（火）12:00～16:00  
※開催形式は未定

[↑ ページのトップへ戻る](#)